2019 年度通常総会

NPO 法人医療制度研究会

日時：2019 年６月２日（日）午後１時 20 分～１時 50 分

場所：中央大学駿河台記念館　３階 320 号室

東京都千代田区神田駿河台 3-11-5 ☎03-3292-3111

http://www.tsukyo.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/

１．開　会
２．挨　拶
３．議　案
　（１）議案Ⅰ　平成 30 年度事業報告
　（２）議案Ⅱ　平成 30 年度活動決算報告書
　（３）議案Ⅲ　2019 年度事業計画案
　（４）議案Ⅳ　2019 年度収支予算案
　（５）議案Ⅴ　役員の改選、定款の改定等
　（６）議案Ⅵ　その他

４．閉　会

21世紀の医療を共に考える会　医療は命の安全保障、医療崩壊を食い止めよう！

«議案Ⅰ»平成 30 年度事業報告

■　平成 30 年度年度活動報告

平成から令和へ、地球の動きは変わらないものの、新しい時代を意識します。このところ、「医師働き方改革」で見られるように、思いもよらない難解な原案が出され、医師だけでなく病人にも影響する事態が予想されています。医療制度研究会では、患者の権利を擁護するという理念に加え、問題視されている「医師働き方改革」の議論や実際において、少しでも役に立つ活動を行ってゆきたいと思います。また、今年もすでに４月 13 日から第８回草津セミナーを開催しました。医療が社会や国家の立場に立って実施したハンセン病隔離政策と、純粋に病人の救済という立場に立った聖バルナバミッションとの対比を見ることが出来ました。来年はらい予防法の廃止に貢献した大谷藤郎か、隔離政策推進に力を発揮した光田健輔を取り上げてみたいと思います。毎年会費の納入のお願いで恐縮ですが、会員の皆様のご支援をお願い申し上げます。

【講演会】

◆　第９８回講演会　　2018年4月２８日（土）11 時～12 時 30 分（中央大学駿河台記念館）

シャボネットあかね氏　通訳・執筆業（オランダ在住）「オランダ発ポジティブヘルス～地域包括ケアの未来を拓く」」

WHO は 1948 年に健康の定義を「単に疾患がないとか虚弱でない状態ではなく、身体的、精神的、社会的にも完全に良好であること」と採択しました。しかし当時は理想的だった定義も、複数の慢性疾患を抱える超高齢者社会の現在は、あまりにかけ離れています。日本と同様に高齢化と高度な医療技術による医療費上昇、人材不足という問題に悩むオランダ政府は、「ポジティヴヘルス」のコンセプトを打ち出し、2030 年に向けて新たな医療従事者の教育を開始しました。自治体もケア・福祉を融合したプロジェクトを実施中で、医療者自身のイニシアテイヴによる取り組みは、患者・医療従事者の満足度を高め、医療コストを下げる効果を上げています。2011 年にオランダの家庭医マフドルト・ヒューバーは『「ポジティヴヘルス」は広い視野で捉える健康、支える環境のもとでの本人主導、市民の回復力促進、専門職間の「垣根」を取り払った協働、「とにかくやってみよう」という行動思考などを重視するもので、福祉、教育からビジネスまで浸透し、次世代の社会を支える力になるだろう。』としています。NPO 法人医療制度研究会は、オランダから来日中のシャボネットあかね氏に「オランダ発ポジティヴヘルス ～地域包括ケアの未来を拓く～」について講演をお願いすることができました。オランダと日本は、医療環境、文化や健康保険事情など異なる面も少なくありませんが、学ぶべき点が多いと思います。

◆　第 99 回講演会 2018 年６月９日（土）15 時 20 分～17 時 30 分　中央大学駿河台記念館

本田宏氏　NPO 医療制度研究会副理事長、弘前大学医学部講師・立教大学兼任講師、日本医学会連合労働環境検討委員会委員

司会：松原要一氏（NPO 医療制度研究会副理事長、鶴岡市立荘内病院名誉院長）

追加発言：「徴医制と憲法改正」平岡　諦 氏（NPO 医療制度研究会理事、元血液内科医）

この 10 年余りの自民党、安倍内閣の動きを総括します。

1979 年に弘前大学を卒業し、1989 年から先進国一医師不足の日本で最も医師が少ない埼玉県の済生会栗橋病院に外科部長として赴任しました。1998 年の医療制度研究会の立ち上げから参加したのは、医療者こそ医療制度の勉強をしなければ日本の医療は崩壊するという危機感からでした。それから約 20 年、新聞投稿やテレビ・ラジオ出演さらに講演会を通して、日本の GDP 当たり医療費と人口当たり医師数が先進国最低という問題を発信してきましたが、未曾有の超高齢化社会に突入した現在も日本の医療費と医師数は先進国最低のままです。現在厚生労働省が開催している「医師の働き方検討委員会」でも、勤務医の労働環境の改善は容易ではないという認識が共有されています。外科医と情報発信活動の二足の草鞋を履いたままでは、日本の医療再生は不可能と、2015 年に還暦を迎えたのを機に 36 年間の外科医生活に終止符を打ち、医療崩壊阻止の活動に加えて「憲法 25 条を守る会」等の市民活動に参加しています。　今回は「Dr.本田の社会保障切り捨て日本への処方箋」出版記念（自治体研究社、2018 年 2 月刊行）も兼ねて、何故日本の社会保障が切り捨てられるのか、どうしたら充実が可能となのか考えてみたいと思います。

◆　第100回講演会　2018年9月15日（土）14時30分～17時30分（中央大学駿河台記念館610号室）

植山直人氏　全国医師ユニオン代表、中原のり子氏（過労死家族の会）

「医療法・医師法の一部を改正する法律」を検証する　ー医師の働き方は改善するかー

私が医学生だった1970年代当時から、「医師は将来過剰になる」と言われていました。その後医師不足が大きな社会問題となって2008年度から医学部定員が増員されましたが、現在も日本の医師数は先進国最小のままです。

現在厚生労働省で開催されている「医師の働き方改革に関する検討会」では、病院経営者側から「勤務医の労働時間を労働基準法内に収めれば地域医療が崩壊する、時間外手当を全て支払えば病院経営が厳しい」等の悲鳴が上がっていましたが、今国会で成立した「医療法・医師法の一部を改正する法律」では問題は解決可能なのでしょうか。医師の働き方を改善する具体的で実効性ある対策を考えたいと思います。医療関係者および市民の方多数のご来場をお待ちしております。（文責：本田　宏 氏）

◆　仙台講演会　2018年4月26日（木）19時～20時30分（エル・ソーラ大研修室、アエルビル28階）

シャボネットあかね氏　通訳・執筆業（オランダ在住）「オランダ発ポジティブヘルス～地域包括ケアの未来を拓く」」

司会：今田隆一氏（宮城県認知症疾患医療センター長、前宮城厚生協会理事長、医療制度研究会理事、脳外科指導医）

◆　**【草津セミナー】**

第7回医療制度研究会草津セミナー：2018年4月28日午後2時～5時30分.（中央大学駿河台記念館）

第一部セミナー講演1「筋痛性脳脊髄炎―診療の実際」申　偉秀（関町内科クリニック院長）

講演2　「治療ガイドラインが患者に及ぼす影響」篠原三惠子（筋痛性脳脊髄炎の会理事長）

追加発言　中澤堅次氏（NPO法人医療制度研究会理事長）

第二部　映画上映「この手に希望を～ME/CFSの真実～」

◆**【MRIC投稿】** 医療ガバナンス学会

Vol.047「i医師の働き方改革の詳細について」（2019年３月13日）中澤堅次　理事長

Vol.255「らい予防法と憲法改正」（2018年12月６日）中澤堅次　理事長

Vol.129「自民党改憲案と徴兵制、徴医制（2018年６月26日）平岡　諦　理事

Vol.134「応召義務と勤務医の長時間労働、呪縛から解放へ」（2018年７月３日）平岡　諦　理事

Vol.190「勤務医よ立ち上がれ、主体的な働き方改革を」（2018年９月19日）平岡　諦　理事

Vol.178「[医師の働き方改革は患者安全のためが]世界の常識～医師の働き方改革を阻害しているのは厚労省と日本医師会～」（2018年９月３日）平岡　諦　理事

Vol.171「患者の人権（自己決定権）から見たHPVワクチン健康被害問題」（2018年８月23日）平岡　諦　理事

Vol.067「原発事故の後遺症とそのリハビリ、福島県浜通り訪問で考えたこと」（１）

Vol.068「原発事故の後遺症とそのリハビリ、福島県浜通り訪問で考えたこと」（２）

（2019年4月15日、２０１９年4月１６日）平岡　諦　理事

【通常総会の開催】

2018年６月９日（土）午後２時30分～3時、（中央大学駿河台記念館302号室）

議題：平成29年度事業報告書、平成30年度事業計画案、予算案その他。

【理事会の開催】

2018年６月９日（土）午後２時～2時20分、（中央大学駿河台記念館）302号室）

議題：平成 29 年度事業報告書、平成 30 年度事業計画案、予算案その他。

«議案Ⅱ»平成 30 年度活動決算書報告　（別紙参照）

«議案Ⅲ»2019 年度事業計画案

下記のスケジュールで、一部はすでに施行されています。

【講演会・研修会の開催】

◆　第 101 回講演会(東京開催) 2019 年 6 月 2 日（日）

「医師の働き方改革、患者のいのちと医師のいのち守るため次の一手をどうする」

場所	中央大学駿河台記念館 320 号室
司会	本田　宏 氏（NPO 医療制度研究会副理事長・弘前大学医学部講師・立教大学兼任講師・日本医学会連合労働環境検討委員会委員）
発表	14:10～16:00　各演者：25 分 （休憩：16:00～16:10　ディスカッション：16:10～16:50）

1.過労死の悲劇を繰り返さないために ..... 中原　のり子 氏（過労死家族の会）
2.勤務医が取るべき対応 ..... 中島　恒夫 氏（全国医師連盟）
3.働き方改革で現場はどうなる（仮） ..... 的場　優介 氏（産婦人科医師）
4.医学生はこう考える ..... 医学生（交渉中）
5.実効性あるタスクシフトのために ..... 立石　実 氏（聖隷浜松病院心臓血管外科）

1998 年に発足した当研究会は、日本の医療制度改善のために 20 年以上活動を続けてきました。しかし医療費抑制を優先する日本は、医療費も医師数も先進国最低レベルで、現在の日本の医師数は OECD 人口当り医師数平均と比較すると 10 万人不足しています。本年 3 月には厚生労働省は「医師の働き方改革に関する検討会」で、医療提供体制を維持するためとして、過労死レベルの倍近い 1860 時間（月 155 時間）の時間外労働が容認されました。このままでは医療事故の減少は困難で、医師の過労死の発生もおおいに懸念されます。今後私たちはどのように対応すべきなのでしょうか、「次の一手」を討論します。（文責：本田　宏 氏）

◆　第 102 回仙台講演会開催 2019 年 6 月 28 日（金））

午後 6 時 30 分～8 時 45 分。仙台市民活動サポートセンター

「医師の働き方改革、患者のいのちと医師のいのち守るため次の一手をどうする」

司会：今田隆一氏（坂総合クリニック宮城県認知症疾患医療センター長、前宮城厚生協会理事長、NPO 法人医療制度研究会理事、脳外科指導医）

第一部：　1）過労死の悲劇を繰り返さないために：中原のり子氏（過労死家族の会）

2）医療法・医師の一部を改正する法律―医師の働き方は改善するか（仮）：植山直人氏（全国医師ユニオン代表）

3）働き方改革で現場はどうなる（仮）：徳村弘実（独立行政法人労働者安全機構東北労災病院院長）

第二部：　デイスカッション：

司会：本田　宏 氏（NPO 医療制度研究会副理事長・弘前大学医学部講師・立教大学兼任講師・日本医学会連合労働環境検討委員会委員）

◆　第８回草津セミナー開催：2019 年４月 13 日、14 日（日）実施済み

基調講演：「ハンセン病救済事業、聖バルナバ・ミッションと二人の日本人女性」

松浦志保氏（草津聖バルナバ教会・教会員、福井県立大学大学院看護福祉学修士課程）

見学会：栗生楽泉園監房記念館、聖バルナバ教会墓地、リー女子記念館など

第 8 回：医療制度研究会草津セミナーへのお誘い

日本のものの考え方は、全体の動向に従順であることが尊ばれ、公の利益のために個人を犠牲にすることを容認する傾向があります。一方欧米諸国は、困窮する人を救済するというキリストの教えが底流にあり、救済の視点は困窮する人に置かれます。

大正から昭和にかけて、草津の湯之沢地区で行われた聖バルナバ・ミッションは、イギリス人宣教師コンウォール・リー女史により行われました。病者や家族が抱える多彩な困難に沿って 36 棟のホームや医院や学校を備え、女史自らは病死者を湯灌のうえで弔う宗教的な救済など、病者に視点を置いた事業を展開します。この事業は 20 年間続き湯之沢には大きな救いとなりましたが、日本が第二次大戦に突き進む状況下、79 歳の女史の健康状態もあって終結を迎えます。

一方、日本のハンセン病政策は、病気から国を守るという考えに立ち、病者を国立療養所に終生隔離するなど、国の立場を重んじた点で、キリストの教えとは異なる性格を持っていました。そしてこの隔離政策は、戦後新憲法になっても、また特効薬プロミンで病気が治るようになっても継続され、平成８年になってようやく「らい予防法」が廃止となり、熊本訴訟では人権侵害として国の責任が確定します。これで日本も変わるかと思いましたが、昨今の自民党憲法改正草案では、現行憲法第 10 条で最高法規とうたっている基本的人権の条項を廃止し、代わりに国民の憲法尊重および擁護義務を明記しており、日本の考え方は戦後も今も全然変わっていないと感じます。このまま放っておけば、らい予防法のような法律が復活するかもしれず、不勉強がとんでもない結果を生まないようにしなければなりません。今回はそのような意味で、聖バルナバ・ミッションを取り上げ、リー女史の要請に応じて厳寒の草津に移住し、聖バルナバ医院創設に貢献した二人の日本人女性、服部けさと三上千代について勉強します。草津聖バルナバ教会墓地には、リー女史に並んで二人のお墓が立てられており、今回の見学会でご案内する予定です。

◇　三上千代：（1891 - 1978）山形市出身、東洋福音教会の伝道員。ハンセン病救済を志し看護資格を取得。服部とともにリー女史の聖バルナバ医院創設に貢献。後に草津に鈴蘭園創設、宮城県で事業を展開後、戦火の中、沖縄の国立療養所婦長を務め、多磨全生園婦長を歴任。功績を認められ、 ナイチンゲール紀章を受賞している。

◇　服部けさ：（1884-1924）須賀川市出身、家庭の主婦として教育を受けるが、母・妹の病気の経験から医師を志し、東京女医学校卒業後、医師免許を取得、三上とともにバルナバ医院創設に貢献、後にリー女史のもとを去り、三上と鈴蘭医院を創設するが、持病の心臓疾患が悪化し死去、須賀川の公立岩瀬病院に顕彰碑が建立されている。

2019 年１月　　医療制度研究会理事長　　中澤　堅次

«議案Ⅳ»平成 30 年予算案（別紙参照）

«議案Ⅴ»役員の改選、定款の改正

«議案Ⅵ»その他、

【会報の発行】編集責任者：中澤堅次理事長

【本田宏ブログ、フェイスブック】

【web サイト、事務局新着情報】会報の掲載、事務局便りの掲載等

【本田宏　副理事長の講演会活動】

2018 年度 本田　宏 氏　活動報告	講演会等：131 件（過去最多）・取材テレビ放送等：11 件（久々にテレビ 2 番組に出演）・ 論文・新聞等：33 件（詳細は、Web サイト：https://healthcare-focus.jp）

講演会等:131 件

1)4 月 4 日;「病は気から」済生会栗橋病院新人オリエンテーション、2)4 月 6 日;日本外科学会特別企画 7「女性外科医のキャリアパス」東京

3)4 月 8 日;北川辺年金者組合「社会保障と平和の切っても切れない関係、介護老人福祉施設」ライゼ、4)4 月 18 日;岡山医療生協、「～誰でも人間らしく生きられる社会を～」岡山医療生協 3 階コムコムホール 、5)4 月 26 日;東大ゼミ「日本の医療の現状」東大駒場キャンパス 、6)4 月 30 日;Z 会「医師不足の現状」テレビ講演 、7)5 月 9 日;健康問題講演会「医師・歯科医師の過重労働の背景と過労死防止への道筋」宮城県保険医協会、エルソーラ仙台大研修室 、8)5 月 12 日;鴻巣憲法 9 条の会、「社会保障と平和の切っても切れない関係」鴻巣文化センタークレア鴻巣小ホール、9)5 月 13 日;呼吸法の仲間の勉強会「病は気から」 、10)5 月 17 日;「社会保障・社会福祉は国の責任で」衆議院第一議員会館大会議室 、11)5 月 18 日;市民社会フォーラム「社会保障切り捨て日本への処方せん」神戸元町映画館、12)5 月 19 日;和歌山医療労働組合「これからの社会保障を考える」～「我が事・丸ごと・他人事」地域強制社会のルーツは明治維新～和歌山県民文化会館 、13)5 月 23 日;東京土建、墨田支部、「社会保障切り捨て日本への処方せん」墨田女性センター

14)5 月 26 日;浦和社会保障切り捨て出版記念パーティー講演、埼玉教育会館、15)5 月 27 日;第 28 回日本臨床工学会「医師の働き方改革と臨床工学技士の活用」パシフィコ横浜、16)5 月 28 日;千葉県民間病院協会「本当の医療崩壊はこれからやってくる」ホテルポートプラザちば 、17)5 月 30 日;所沢市高齢者大学「社会保障切り捨て日本への処方せん」新所沢公民館 、18)6 月 2 日;福島民商婦人部「社会保障切り捨て日本への処方せん」東京第 1 ホテル新白河 、19)6 月 3 日;日野生活と健康を守る会「社会保障切り捨て日本への処方せん」日野社会教育センター 、20)6 月 4 日;東京民医連講演「社会保障切り捨て日本への処方せん」大塚ラパスビル 、21)6 月 8 日;安積高校同窓会「外科医36年を顧みて」椿山荘 、22)6月9日;医療制度研究会「社会保障切り捨て日本への処方せん」中央大学 、23)6 月 11 日:久喜学園「心とからだの健康」鷲宮西コミュニティセンター 、24)6 月 12 日:入間学園「心とからだの健康」入間市産業文化センター、25～39)4 月 12 日から 15 回:立教大学コミュニティ福祉学部「医学概論」立教大学新座キャンパス、40)～43)6 月 16 日から 4 回;富士見市民大、鶴瀬公民館、①日本医療現場の実態、先進国最少の医師数と医療費、先進国一高い自己負担、②医療崩壊のキーワードは医療費亡国論、そのルーツは明治維新、③キューバやデンマーク視察から見えた医療再生の処方せん、④病は気からを科学する、44)6 月 17 日;NPO 法人 「社会保障切り捨て日本への処方せん」NES げんこつ 、45)6 月 18 日:宮日新聞「医療崩壊をどう止めるか」宮崎観光ホテル、46)6 月 19 日;宮日新聞「医療崩壊をどう止めるか」エンシテイホテル延岡 、47)6 月 20 日;宮日新聞「医療崩壊をどう止めるか」日南会場日向第一ホテル 、48)6 月 22 日;東京都衛生局・病院・保健所関係の退職者会「社会保障切り捨て日本への処方せん」東京都庁、49)6 月 22 日;反貧困ネットワーク「社会保障切り捨て日本への処方せん」埼玉総合法律事務所、50)6 月 27 日:茨城新聞政経懇話会「病は気から～精神神経免疫学から紐解く健康で幸せに生きる」ホテルグランド東雲:

51)6 月 28 日;練馬社保協「社会保障切り捨て日本への処方せん」ココネリ、52)6 月 29 日:埼玉県春日部学園「心とからだの健康」春日部市民会館

53)7 月 7 日;「熱血教室:社会保障切り捨て日本への処方せん」久喜ふれあいセンター、54)7 月 8 日;東京土建江戸川支部「社会保障崩壊のルーツ・明治維新を振り返る」江戸川支部会館、55)7 月 10 日;東京土建「社会保障崩壊のルーツ・明治維新を振り返る」建設プラザ東京 、56)7 月 13 日;国会衆議院厚生労働委員会参考人 、57)7 月 13 日;中級主任者研修「医療制度」東京ナースプラザ、58)7 月 13 日;中級主任者研修「病は気から」東京ナースプラザ

59)7 月 21 日;川越市日本共産党後援会総会「社会保障問題と『市民と野党の共闘』の今後」ウェスタ川越、60)7 月 22 日:西東京社保協「社会保障切り捨て日本への処方せん」柳沢公民館、61)8 月 3 日;医学生ゼミナール「社会保障切り捨て日本への処方せん」弘前大学 、62)8 月 4 日;越谷民商共済会「病は気から」桜井地区センターあすぱる、63)8 月 5 日;埼玉土建春日部支部「社会保障切り捨て日本への処方せん」市民活動センターぽぽら

64)8 月 7 日;全日本年金者組合清瀬支部「明治150年と社会保障制度」清瀬市竹丘市民センター、65)8 月 23 日;鹿児島医療生協「Dr 本田の社会保障切り捨て日本への処方せん」鹿児島市勤労者交流センター、66)8 月 24 日;鶴岡医療生協「社会保障切り捨て日本への処方せん」荘銀タクト鶴岡小ホール

67)8 月 31 日;25 条集会実行委員会「日本の貧困の状況、処方せん」、埼玉総合法律事務所 、68)9 月 1 日;鳩ヶ谷 3000 万署名講演会、「改憲のルーツ、明治維新を振り返る」鳩ケ谷駅市民センター、69)9 月 9 日;消化器内視鏡外科フォーラム「医師の働き方は改善するか」東北労災病院 70)9 月 19 日;南日本新聞政経懇話会「日本の医療の現状」鹿児島観光ホテル、71)9 月 19 日;南日本新聞政経懇話会「日本の医療の現状」薩摩川内

72)9 月 20 日;南日本新聞政経懇話会「日本の医療の現状」霧島、73)9 月 22 日;熊谷厚生連「病は気からを科学する、労組活動は健康に良いの？」男女共同参画推進センター・ハートピア、ティアラ、74)9 月 23 日;流山医師会「安心して生きられる未来への処方せん」流山市文化会館、75)9 月 25 日;駿台予備校ランチタイムセミナー「医師不足とその解決策を考える＆病は気から(精神神経免疫学)」市谷校舎、76)9 月 26 日;宗谷友の会「医師不足の根本原因は何か。どう解決していくのか」 稚内、77)9 月 27 日;「医師不足の根本原因は何か。どう解決していくのか」士別市立病院、78)9 月 28 日;「医師不足の根本原因は何か。どう解決していくのか」砂川市立病院、79)9 月 30 日;子供たちの未来を考える「しみん父母の会」「社会保障切り捨て日本への処方せん」秦野市南公民館和室 、80)10 月 1 日;弘前大学社会医学講座「我が国の医療の現状と問題点」弘前大学、81)10 月 5 日;駿台予備校ランチタイムセミナー「医師不足とその解決策を考える＆病は気から(精神神経免疫学)」千葉駿台予備校、82)10 月 6 日;伊藤塾講演「我が国の医療の現状と問題点」伊藤塾、83)10 月 12 日;中級主任者研修「医療制度」東京ナースプラザ、84)10 月 12 日;中級主任者研修「病は気から」東京ナースプラザ、85)10 月 13 日;種の仲間設立15年記念「ガンになる性格、ならない性格　病は気からを科学する」北本文化センター 、86)10 月 20 日;日本医労連一般病院部会、「明治維新 150 年、社会保障再生に労組が期待される理由」ホテルテトラ北九州、87)10 月 27 日;ドクターズデモンストレーション、駿台記念館 2 階、88)11 月 3 日;狛江社保協「社会保障切り捨て日本への処方せん」、89)11 月 4 日;久喜社保協「 何故日本の社会保障が充実しない？　デンマークやキューバ視察から考える」ふれあいセンター久喜、90)11 月 9 日:上伊那社保協「社会保障切り捨て日本への処方せん」、91)11 月 10 日:奈良臨床工学技士会「臨床工学技士に期待する」なら 100 年会館、92):加須公民館講座「病は気から」加須公民館、93):第 40 回医療問題弁護団研究会全国交流集会「社会保障切り捨て日本への処方せん」鳥取米子、94):全国医師ユニオンシンポジウム「医師の働き方シンポジウム～先行事例の紹介と、これからの展望～」御茶ノ水中央大学、95)11 月 21 日:文部科学省記者会見「女性受験者差別問題に関して」、96)11 月 24 日:第 13 回医療の質・安全学会学術集会「フィジシャンアシスタントは医師の過重労働解決の切り札となりうるか」名古屋国際会議場、97)11 月 25 日:第 19 回中部臨床工学技師会「社会保障切り捨て日本への処方せん」岐阜じゅうろくプラザ、98)11 月 29 日:民医連「医師労働環境改善への取組み～済生会栗橋病院の取組み、PA について考える」AP 浜松町、99)11 月 30 日:東京ふれあい医療生活協同組合「社会保障切り捨て日本への処方せん」、100)12 月 1 日:医学会連合フォーラム、オアゾ、101)12 月 5 日:医療・介護院内集会、参議院会館、102)12 月 7 日:青森民医連社保大学習会「社会保障切り捨て日本への処方せん」浪岡中世の館、103)12 月 9 日:東京母親大会「社会保障切り捨て日本への処方せん」たましんRISURUホール、104)12 月 14 日:消費費税 10%中止！ネットワ

ーク。衆議院第 2 議員会館、105)12 月 15 日:富士見市公開市民講座「医療の現場における人権」鶴瀬公民館、106)12 月 21 日:中級主任者研修「医療制度」東京ナースプラザ、107)12 月 21 日;中級主任者研修「病は気から」東京ナースプラザ、108)1 月 10 日:埼玉革新懇「社会保障切り捨て日本への処方せん」コラボ黒澤ビル、109)1 月 12 日:神戸健康共和会「社会保障改悪と医療崩壊の現状」兵庫県中央労働センター、110)1 月 20 日:三郷民商創立 45 周年記念祝賀会「健康と医療制度について」三郷市東和東地区文化センター、111)1 月 28 日:世田谷社保協、「社会保障の再建、地域社保協の役割について」三茶しゃれなーど、112)2 月 3 日:東京自治労連女性部 2019 年春闘のつどい「日本の社会保障崩壊のルーツ、再生の処方箋?」ラパスホール、113)3 月 9 日:奥州市の医療を考えるパパ・ママの会「日本の社会保障崩壊のルーツ、再生の処方箋?」Z ホール、114)2 月 10 日:目黒新婦人「歴史とデータでみる日本の社会保障」目黒区立 中目黒スクエア、115)2 月 13 日:東京ふれあい医療生協「社会保障切り捨て日本への処方せん」尾久ふれあい館、116)2 月 16 日:医師の働き方シンポジウム、中央大学駿台記念館、117)2 月 18 日:旭川医大 Surgical Grand Rounds「医師不足、その実態と解決策」旭川医科大学第 3 講堂、118)2 月 21 日:在宅療養を支える家族市民の会「埼玉県の医療を考える」北元市民文化センター、119)2 月 23 日:千葉東清公民館「認知症になっても安心ですか?」、120)2 月 26 日:江北生協「消費税は社会保障に使われていますか」カエデ薬局、121)2 月 26 日:東京保健生協練馬協議会「社会保障切り捨て日本への処方せん」大泉生協病院、122)3 月 2 日:日本医学会連合公開フォーラム、時事通信ホール、123)3 月 7 日:ドクターズデモンストレーション院内集会、衆議院第二議員会館、124)3 月 10 日:消費増税反対梅村さえこさんとコラボトークセッション、アスカル幸手 、125)3 月 13 日:大阪西淀川医療労働組合春闘学習会講演「社会保障切り捨て日本への処方せん」、126)3 月 15 日:都立病院独法化会合、文京区民センター、127)3 月 21 日:世田谷健康友の会講演「病は気から」二子玉川区民集会所、128)3 月 22 日:吉田医政局長面談、厚生労働省、129)3 月 22 日:医療生協埼玉講演会「憲法と平和、くらしと健康、子どもの未来まもる」川口青木会館、130)3 月 26 日:埼玉土建書記局員研修会「『政治は関係ない』という若い仲間にどう政治を語るか」埼玉県県民健康センター、131)3 月 27 日:東葛病院の医療と社会を考える学習会「日本の医療の現実」流山東葛病院、取材・テレビ放送等:11 件、1)5 月 26 日:ガイアの夜明け打ち合わせ、2)6 月 16 日;JMS 取材、3)7 月 6 日;呼吸法取材:マイヘルス社『壮快』編集部、4)9 月 5 日:女性現代取材 、5)10 月 11 日:通信社取材 、6)10 月 23 日:新説所ジャパン打ち合わせ、7)11 月 4 日:海賊テレビ収録、8)11 月 11 日:新説所ジャパン収録、9)11 月 22 日:読売新聞取材、10)1 月 14 日:新説所ジャパン、11)2 月 26 日:ガイアの夜明け

論文・新聞投稿等:33 件

1) 特別インタビュー本田宏医師に聞く「社会保障切り捨て日本への処方せん」兵庫保険医新聞 2018 年 4 月 5 日、書評「Dr.本田の社会保障切り捨て日本への処方せん」住民と自治、3)「医師不足解決、フィジシャン・アシスタント導入が喫緊の課題」ドクターズ・ユニオンニュース 2018 年 4 月 27 日、4)論点「医師の働き方改革 絶対数と医療費を増やせ」大阪歯科保険医新聞 2018 年 6 月 15 日、5)医療界の不都合な真実第 1 回「医師が過剰になる将来は訪れたのか」月刊保険診療 2018 年 6 月、6)医療界の不都合な真実第 2 回「日本の医師は死ぬまで週に 30 時間働く?」月刊保険診療 2018 年 7 月、7) 真夏の快眠術「ストレスが消えて安眠できる!医師が患者に勧め効果を上げる 4・7・8 呼吸」爽快、8)「医師不足の歪み背景に国の抑制策」赤旗 2018 年 8 月3日、9)「真実を自分の目で確かめているか?」ドクターズ・ユニオンニュース 2018 年 7 月 31 日、10)医療界の不都合な真実第 3 回「病院は赤字、製薬メーカーは?」月刊保険診療 2018 年 8 月、11)Medical Whos Who「医療制度研究会副理事長本田 宏」JMS 2018 Sep、12)厚生労働委員会会議録第 36 号、「第 196 回国会衆議院」、13)医療界の不都合な真実第 4 回「衆議院厚生労働委員会で PA 導入を力説」月刊保険診療 2018 年 9 月、14)「もう少し患者のことを考えてほしい 1時間待って 5 分の診療」週刊現代 9/22・29、15)「医療崩壊をどう止めるか 超勤で補う医師不足」南日本新聞 9 月 29 日、16)医療界の不都合な真実第 5 回「東京医科大だけを悪者に終わらせるな」月刊保険診療 2018 年 10 月、17)「実効性ある具体策を 医師の

働き方改革」全国保険医新聞 10 月 15 日、18)「戊辰 150 年　官軍史観から脱却を」毎日新聞 11 月 1 日、19)医療界の不都合な真実第 6 回「クレージーは褒め言葉？過労死ラインを超えて医療安全は守れない」月刊保険診療 2018 年 11 月、20)「医療・社会保障崩壊の深層と再生の処方せん一温故知新　明治維新ー」病態生理 2018 vol.52、21)「どうする医師の働き方改革」全国保険医新聞 2018 年 11 月 15 日、22)医療界の不都合な真実第 7 回「厚労省の情報操作に簡単に乗ってきた医療界」月刊保険診療 2018 年 12 月、23)「医師の働き方改革は医療現場の問題を解決できるか」集中 2018.12、24)医療界の不都合な真実第 8 回「医療崩壊のルーツは明治維新以来続く医療費抑制策」月刊保険診療 2019 年 1 月、25)「社会保障解体攻撃の現在～9 条改憲派は陽動作戦？日本が売られる～」社会保障 2019 年春号、26)医療界の不都合な真実第 9 回「日本の医療事故を予測したサリバン長官」月刊保険診療 2019 年 2 月、27)「6.Physician assistant 導入を実現せよ」日本外科学会雑誌第 120 巻第 1 号、28)「許すな消費税 10%」いつでも元気 2019.3、29)医療界の不都合な真実第 10 回「武士は食わねど高楊枝？」月刊保険診療 2019 年 3 月、30)「国保改善の大きな力に」全國商工新聞 2019 年 3 月 18 日、31)「10 中止署名 15 万人超提出」全國商工新聞 2019 年 4 月 1 日、32)病に喝　精神神経免疫学に学ぶ第 1 回「私が外科医になった理由」全國商工新聞　2019 年 4 月 1 日、33)病に喝　精神神経免疫学に学ぶ第 2 回「治療で感じた病は気から」全國商工新聞　2019 年 4 月 8 日。

編集後記

事務局　坂詰　清

仙台も葉桜の風薫る季節を迎えました。NPO 法人医療制度研究会は 2006 年 9 月内閣府（当時は）の設立認証を受けて、今年で 13 年を迎えます。会員数は 2008 年をピークに新会員も伸び悩み、財政的にもその間苦境に陥っています。数名の篤志家の多大なるサポートや、会員皆様方の熱い志に支えられて、今日まで継続して来ました。改めて感謝申し上げる次第です。10 数年の間、「医療崩壊」、「医師不足」、「医師過労死」、「医療と人権」や、「社会保障」、「診療報酬改定」、「憲法と人権」、「ハンセン病」、などなど医療を取り巻く喫緊のテーマを選び抜き、講演会を中心に活動を展開して来ました。以前は講演会案内チラシを実施毎に、多くの施設や会員宛に案内して来ましたが、財政難の折、現在は中止し、今日に至っています。で、昨年末には、新たに見易い Web サイトを構築しましたので、今後はこちらを閲覧いただきたくお願いいたします。https://healthcare-focus.jp　古い情報は、旧 Web サイトを参照願います。http://www.iryouseido.jp (今年度中は閲覧可能) 『会報』を定期的に発刊し、活動を邁進して行きたいと思います。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。次号は 7 月を予定しています。